

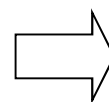
道路管理者による対策事例（1）

歩道の整備（新組小学校区）
市道東幹線 5 5 号線

H24・25 対策箇所
福島町地内



歩道が狭く通学児童の安全が確保できない



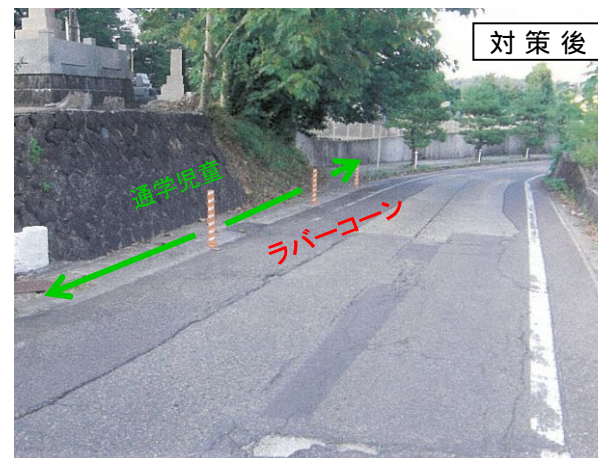
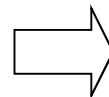
道路の法面幅を有効に活用し歩道を拡幅

安全施設の設置（栃尾南小学校区）
栃尾滝の下町上の原町天下島線

H24対策箇所
谷地2丁目地内



歩道がなく通学児童が危険である



ラバーコーン歩車道分離による歩行者通行帯を確保

道路管理者による対策事例（2）

路面表示(宮内小学校区)

市道宮内358号線 宮内4丁目地内

H24 対策箇所



スピードを出す車が多く横断する児童が危険



注意喚起文字表示によるスピード抑制対策を実施

路面表示(新町小学校区)

市道242号線 東新町2丁目地内

H25 対策箇所



交差点があるにもかかわらずスピードを出す車が多く危険

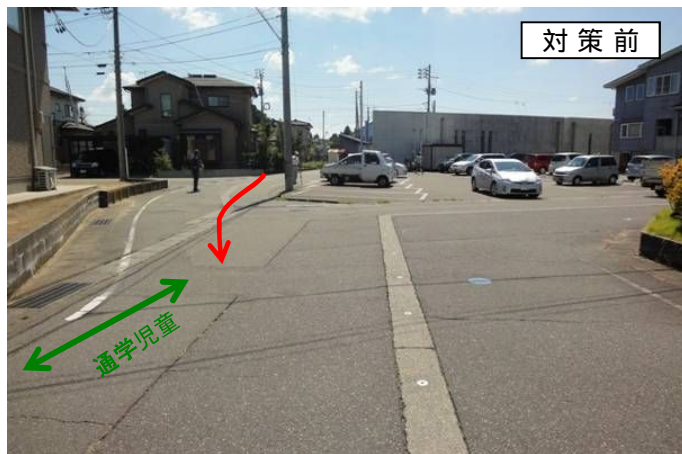


イメージブロックとカラー表示によるドライバーへの注意喚起対策を実施

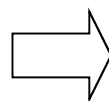
道路管理者による対策事例（3）

交差点の改良(越路小学校区) 市道越路157・164号線 浦地内

H24対策箇所



変形交差点で、通学児童が危険



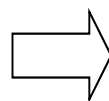
安全施設によりで交差点をコンパクトに改良

歩道の整備(和島小学校区) 市道和島62号線 小島谷・島崎地内

H25対策区間



歩車道の区分がなく危険



水路を暗きょ化し歩道を設置

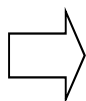
道路管理者による対策事例（４）

冬期間の安全対策

通学路の安全確保については、特に冬期間は積雪による危険性が増し、冬期間通学路安全対策が強く望まれている。

このため、通学路等の歩道については「雪みち計画」に基づき、早朝に除雪機械による歩道除雪を実施しているが、一日中降雪が続いた時や大雪で機械除雪により堆雪量が多くなり、歩道が歩けない事態が生じないように、通学児童が集中する学校から半径200mの範囲を基本とし、通学路となる歩道に計画的に消雪パイプの設置を進め対応することとしている。

通学路歩道消雪パイプの設置事例



冬期間、機械除雪により歩道の通行を確保しているが、堆雪量が多くなると車道を歩く状況となるなど通学児童が危険である。

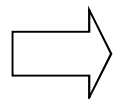
通学路歩道に消雪パイプを設置し安全を確保

道路管理者による対策事例（４）

(3) 路面表示 - 3 (歩行者帯) 市道日越160号線 宝地町地内



歩道がなく通過車両と接近し危険



路肩をカラー表示し歩行者通行帯を確保